

東京都中学校図書館研究会会報

令和7年度 読書感想文東京都コンクール結果

応募校数：384校 応募総数：56120作品

賞	作品名	書名	学校名	学年	氏名	
都最優秀 (全国推薦)	自由	承認欲求を捨てよ	嫌われる勇氣	板橋区立高島第一中学校	2	関 夢乃
		私の舟を編む	舟を編む	板橋区立上板橋第三中学校	3	菊池 瞳子
	課題	乾いた街へ、想いを注いで	スラムに水は流れない	都立立川国際中等教育学校	3	細谷 心梨音
		踏み出す私の小さな一歩	わたしは食べるのが下手	足立区立東綾瀬中学校	2	長部 明未
都優秀	自由	差別という雑草	ぼくはイエローでホワイトで、ちょっとブルー	足立区立入谷南中学校	3	黒木 楓
	課題	正義の貫き方	スラムに水は流れない	台東区立桜橋中学校	3	塚原香穂里
	自由	成瀬は天下を取りに行く	成瀬は天下を取りに行く	文京区立第一中学校	3	吉田知波
	自由	不器用でも伝えたい	きよしこ	練馬区立石神井西中学校	3	平野 詩帆
	自由	悪口というコミュニケーション	悪口ってなんだろう	江戸川区立東葛西中学校	1	西園 由悠
	自由	限りある今を	その日のまえに	葛飾区立桜道中学校	3	星 里音
	自由	「手触り」の先に生きる実感を求めて	特別授業”死”について話そう	豊島区立千登世橋中学校	3	佐川 珠理
	課題	声にならない思いを抱えて	わたしは食べるのが下手	足立区立第一中学校	3	岡崎 翔

第71回青少年読書感想文全国コンクール 入賞者
 東京都立立川国際中等教育学校 3年 細谷 心梨音さん 「毎日新聞社賞」
 板橋区立高島第一中学校 2年 関 夢乃さん 「全国学校図書館協議会長賞」 を受賞しています。

令和7年度 読書感想画東京都コンクール結果

応募校数：18校 応募総数：186作品

賞	部	作品名	書名	学校名	学年	氏名
優秀賞	自由	絶望とぬくもり	ぼくのエメラルドスプーン	練馬区立石神井西中学校	3	宮川 あさな
	指定	手紙の中の思い出	七月の波をつかまえて	多摩市立諏訪中学校	2	近藤 和葉
優良賞	自由	本に潜る	さみしい夜のページをめくれ	練馬区立石神井西中学校	3	佐藤 日向子
	指定	消えることのない銃跡	この銃弾を忘れない	多摩市立諏訪中学校	2	戸ノ部 太陽
佳作賞	自由(次点)	死んだ花	サマータイム	私立トキワ松学園中学校	3	土田 明菜
	指定(次点)	有言実行	やなやつ改造計画	多摩市立諏訪中学校	1	石野 由花
	自由	オオカミ王ロボ	シートン動物記	私立トキワ松学園中学校	3	尾崎 愛心
	自由	時を巡るコーヒー	コーヒーが冷めないうちに	私立トキワ松学園中学校	3	鳥谷 祐衣
	自由	魔法の心得	西の魔法が死んだ	練馬区立石神井西中学校	2	中尾 咲
	自由	共に。	草原のサーカス	練馬区立石神井西中学校	3	大崎 紗菜
	自由	自由への扉	かもめのジョナサン	荒川区立尾久八幡中学校	2	北原 桜
	指定	思い出のカメラ	やなやつ改造計画	多摩市立諏訪中学校	2	今川 実咲

第37回読書感想画中央コンクール 入賞者
 練馬区立石神井西中学校 3年 佐藤日向子さん 「優良賞」 を受賞しています。

令和8年3月31日 第126号

発行所 東京都中学校図書館研究会

事務局長在籍校 練馬区関町南 3-10-3

練馬区立石神井西中学校 齊藤 祐介

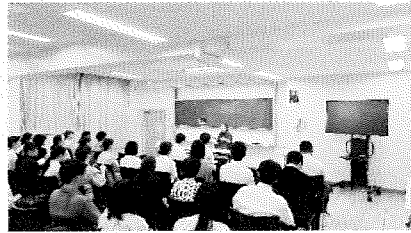
電話 03 (3920) 1034

令和7年度 東京都中学校図書館研究会 総会および講演会の様子

令和8年6月19日(木)に足立区立第四中学校において、東京都中学校図書館研究会の総会および講演会が催されました。昨年度より本会では夏季研修会として読書感想文の課題図書を執筆された作者の方をお招きしてご講演いただいています。しかし、夏季研修会の時期の講演では、読書感想文の指導が済んでしまっているというお声もいただいたため、今年度は総会開催に合わせて、講演会を行うこととなりました。

今年度は、課題図書『鳥居きみ子：家族とフィールドワークを進めた人類学者』（くもん出版）の作者であられる竹内紘子先生にお出

いただき、「豊かな感性を育む読書活動のあり方」－執筆者の視点から－というテーマで、ご講演していただきました。



講演では、元々は鳥居きみ子を取りあげようとは思っていなかったとのことでした。はじめは明治から昭和にかけて活躍した「知の巨人」と称される人類学者・考古学者の鳥居龍蔵に迫っているうちに、彼の妻として行動を共にした「鳥居きみ子」の人柄や生き様に魅力を感じ、調べていったそうです。当時の女性が抱えた数々の問題にも屈せずに、女性としての矜持をもちながら、自分らしく生きていく「鳥居きみ子」の強さを作家の方のお話を直接聞き、改めて感じさせられました。

竹内紘子先生は、本を書き上げた時点で、その読み方や捉え方は読み手に委ねていてもおっしゃっていました。中学生がこの課題図書を通じてどんなことを感じるのか、とても楽しみです。

令和7年度 東京都中学校図書館研究会 都読書感想画コンクール審査会の様子

令和8年1月9日(金)に読書感想画中央コンクール東京都審査会が行われました。今回で第37回となる読書感想画の審査会ですが、今年度も多くの地区の先生に審査にご協力をいただきました。ありがとうございました。

今年度は応募校数18校で応募総数は186作品となりました。昨年度より応募作品の総数が減ってしまったのは残念ではありましたが、応募作品は例年以上の力作が出揃っていました。文章で表現するよりも、本を読んで得たことを絵にして表現することの方が得意である生徒はどの学校にも必ず一定数いると思います。ぜひ各校の先生方(特に国語科や美術科の方、美術部顧問の方)にも「読書感想画」というコンクールがあることを知っていただきたいです。生徒が主体的に読書し、表現できる場を少しでも増やしてもらえれば幸いです。

読書感想画の審査では、絵の構図や色使い、発想力、200字以内で表現された絵の感想および描いた際の工夫点などから総合的に判断しています。指定図書などは、同じ本を読んでいるが、描き手によって場面を切り抜くところが違っており、そこもまた読書活動で得たことを表現する面白さだと感じました。



～審査会の様子～

令和7年度 各地区活動報告

千代田区

I 本年度の活動内容

- ・読書感想文コンクールの応募、審査
- ・国語の授業内での本紹介
- ・ビブリオバトルの実施

II 成果と課題

読書感想文の審査にあたっては、事前に区内各校の応募作品を「Microsoft Teams」へアップロードしました。これにより、審査をスムーズに行うとともに、より深く作品を吟味することができるようになりました。例年、生徒が作文を書く際には、他のテーマについて扱う作文コンクールと読書感想文コンクールの両方を選択肢として提示しています。そのため、読書感想文を避けて、他のテーマを選択するような、読書に苦手意識のある生徒も少なくないことが課題であると考えました。そこで、来年度は両校で取り組んでいる「本紹介」や「ビブリオバトル」をさらに活性化させ、生徒の読書に対する興味・関心を育み、読書の習慣化にもつなげていきたいと考えています。

(千代田区立神田一橋中学校 細川 奈央)

江東区

江東区では「江東区中学校教育研究会 学校図書館部」として活動している。

I 本年度の研究テーマ : 「学校図書館の活用とその活性化を図る」

II 本年度の活動内容

- 4月 一斉部会
- 7月 領域部会①

- ・組織、予算の確認
- ・研究テーマの確認

- ・活動予定の確認

10月 領域部会②

- ・研究テーマに関するアンケートを実施。各校の取り組み事例や問題意識を共有。

- ・区立図書館職員との意見交換

2月 領域部会③

- ・各校の取り組みの経過報告

- ・次年度に向けて

III 成果と課題

今年度から読書感想文審査を別組織で運営することになり、「区中研 学校図書館部」としては、学校図書館の効果的な運用や活性化について研究を進めていく。

領域部会②では、学校司書との連携や学校図書館に期待される役割について意見交換ができた。一人一台端末が活用できる今、情報センターとしての機能は区立図書館と連携して維持しつつ、読書センターとしての機能を充実させていくなどの意見が挙がった。来年度も同テーマで研究を進める予定であり、さらに具体的な手立てについて考えていきたい。

領域部会③では、各学校図書館の活用・活性化のために江東区立図書館の見学を計画したが、日程調整がつかず次年度への持ち越しとなった。そのため、各校の取組状況の経過報告を行うとともに、令和8年度も継続した研究を行い、2年かけて学校図書館の活性化を図ることを再確認した。

なお、読書感想文コンクールについては運営組織が変わったものの例年通り全校が参加して実施することができた。

(江東区立辰巳中学校 田中 まゆ子)

世田谷区

今年度の世田谷区中教研は昨年度に引き続き「学校図書館の機能促進と読書活動の充実」をテーマとし、①「第3次世田谷区立図書館ビジョン」の推進②学校図書館司書と連携した読書指導③読書活動を活かした思考力・表現力の育成の三つの柱を立て年間の活動を進めました。①については、区民に向けた電子書籍のコンテンツの拡充を図る同ビジョンの方向性を踏まえ、それらのコンテンツの学校教育の中での活用について、区の関係機関と情報の共有を行いました。次に②については、学校図書館司書に夏休み推薦図書を選定を依頼するとともに、研究会にてブックレビューを実演していただき、会員の学びを深めました。さらに③については、8年目となる「世田谷区ビブリオバトル大会」を実施しました。今年度より実施時期を夏季休業中の8月末とすることで、生徒の表現活動の機会を担保しつつ、運営に携わる教職員の実務負担の軽減を実現することができました。

(世田谷区立駒留中学校 六田 歩花)

渋谷区

○図書室の運営

バーコードによる書籍の電子化が進み、図書館司書との連携も定着した。ほとんどの学校で週に4回図書館司書が勤務となり、日ごろから意思疎通を図ることで図書室の運営をスムーズに行えている。

○「りんごの棚」の設置

「りんごの棚」の設置依頼を7月に受け、9月から設置場所を設けている。バリアフリー図書や絵本、写真が多い本、やさしい日本語の本、

外国語図書など、生徒が気軽に読める本を紹介するコーナーとして稼働している。

(渋谷区立鉢山中学校 寺田 貴紀)

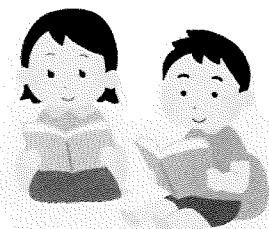
豊島区

豊島区には独立した図書部会が存在しないため、区の国語部会が主体となり、図書活動の推進、読書感想文コンクールの審査会を行っている。

今年度も読書感想文コンクールの取組として、各校で授業や夏期休業を利用して読書感想文指導を行った。また、学級文庫の充実、司書による図書便りの発行、図書室の環境整備、オンラインでのSDGsブックトーク交流、図書委員会活動の活発化など、読書活動の推進のための工夫を続けている。

コンクールの審査を通して見えてきた課題は、課題図書の感想文が少ないことだ。今後は指導をする際、課題図書を紹介し、生徒の興味を引く必要がある。また、読書量の減少も課題である。各校の取り組み事例を共有し、学校の実情に合わせた活動をさらに充実させたい。一人でも多くの生徒が日常的に本を手にとれるよう、読書活動を活発化させる工夫を今後も続けていく。

(豊島区立西巣鴨中学校 石塚 恵子)



板橋区

令和7年8月27日(水)に書評座談会を行った。今年度の課題図書は、『海のなかの観覧車』(菅野雪虫 著)であった。区内25名の生徒が参加した。

読書感想文コンクールでは、2作品が都の優秀賞を受賞した。応募総数は3890作品で昨年より400作品ほど減少した。読書感想文離れが続いている。

令和7年6月～7月にかけて読書状況アンケートを行った。区内全校より各学年1クラスずつ抽出して実施した結果、1ヶ月間に本(電子書籍を含む)を読んでいない(読みかけの本もない)生徒は、12.9%であり、昨年より1.1%減少した。

次年度より、区が新しい読書活動推進プランを立ち上げている。区立図書館等との連携を深め、読書に親しむ生徒を一人でも多く育てていきたい。

(板橋区立中学校国語研究部長 松本 彰弘)

練馬区

令和7年度活動概要

- (1) 令和7年8月6日(水)
夏季研修会 施設見学および情報交換
於 図書館流通センター(TRC)本社
- (2) 令和7年9月28日(木)
練馬区中学校読書感想文コンクール
於 練馬区立石神井南中学校
入賞作品をまとめ、読書感想文集として年度末に発行
- (3) 令和7年11月5日(水)
11月研修会 施設見学および
電子図書館について
於 光が丘図書館

(4) 令和8年2月4日(水)

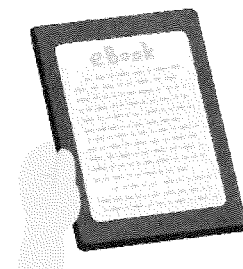
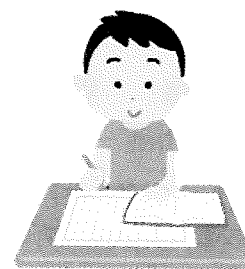
研修会および講演会

講師 練馬区立関町図書館 館長
相川 欽吾様

演題 ビブリオバトルの実践例
於 練馬区立大泉第二中学校

今年度の夏季研修会では図書館流通センターの施設見学を行い、TRCと各学校図書館とのつながりを改めて学ぶことができた。秋には本区内でも最も大きい光が丘図書館を見学し、電子図書館の活用に向けたお話を伺うことができた。一人一台端末を学校図書館としてもさらに活用し、生徒の読書活動をより推進していくことが課題である。

(練馬区立石神井西中学校 齊藤 祐介)



江戸川区

1 活動目標

- (1) 江戸川区読書科の推進
- (2) 学校図書館の整備・活用の充実

2 本年度の取り組みと成果

(1) 6月4日(水)

江戸川区中学校教育研究会一斉研究日

○組織作りおよび年間活動計画の確認

○講演会「江戸川区図書館基本計画について」

江戸川区文化共育部文化課 図書館運営係

酒井 聖矢 様

図書館流通センター

所長 村瀬 裕子 様

(2) 9月26日(金) 読書感想文コンクール審査会

区内中学生から応募があった読書感想文32校94作品の中から、特選7作品、優秀賞18作品、佳作69作品を選出。特選7作品を東京都読書感想文コンクールへ出品

(3) 2月12日(木)

江戸川区中学校教育研究会一斉研究日

講演会「情報活用と学校図書館～多様な情報源に

ついて新聞活用を中心に～」

全国SLA 学校図書館スーパーバイザー

日本新聞協会 NIE アドバイザー

村山 正子 様

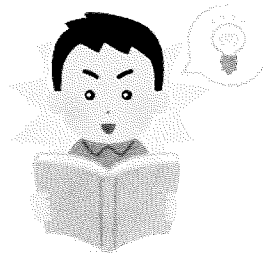
(江戸川区立葛西第二中学校

校長 東原 貴行)

町田市

町田市図書館教育研究会では、「学校図書館の充実と活用」を主題として研究を行ってきた。夏の研修では、日版図書館選書センターへ出向き、見学と選書を行った。当館は、3万冊規模の図書見本を日本十進分類(NDC)に基づいて展開する児童・生徒向けの選書施設である。話題の本・喫緊の課題やセンター独自のコーナーも提案されており、新しい図書を手に取って選書することができた。また、秋の研修では玉川学園マルチメディアリソースセンター(以下MMRC)を見学した。MMRCは読書活動と学習活動を支える総合情報図書館となっている。玉川学園では、幼稚園から高校までの一貫したカリキュラムの下、各メディアを活用することで探求力と解決力を持つ、たくましい人間の育成を目指している。アカデミックサポートセンター司書教諭から図書館の活用と、探究活動の取組等について説明していただいた。

(町田市立南大谷中学校 渡邊 英美)



東京都中学校図書館研究会事務局よりお知らせ

今年度も東京都中学校図書館研究会にご協力を賜りまして、ありがとうございました。

本会では「豊かな心と自ら学ぶ力を育む学校図書館」を研究のテーマに据えて活動しております。主な活動として、読書感想文審査や読書感想画審査、作家の方などをお招きしての研修会の実施等を行っております。

今年度は青少年読書感想文全国コンクールにおいて、東京都の中学校代表作品が入賞するといった成果をあげられました。審査に携わっていただいた先生方、改めて御礼申し上げます。

さて、大きな成果をあげられた一方、東京都の審査準備においては、課題が残りました。来年度の応募の際に注意していただきたい点をまとめました。

- ①応募作品(原本)と応募作品のコピー、両方に応募票を必ず添付すること。
(特にコピーに貼られていないケースが多数)
- ②応募一覧表が入っていない。
応募一覧表はエクセルデータで事務局までメールでも送付すること。
- ③応募一覧表の応募総数は各市区町村の審査会上がってきた総数を記載すること。
(都の審査会に出品した数ではありません)
- ④応募締め切りを守ること。
各地区理事が責任をもって、ご応募ください。
- ⑤応募作品の字数が5枚目の半分(1800字)に満たないものは審査の対象から外します。
- ⑥全国コンクール用の原稿で生徒に書かせる場合、右上の氏名は必ず消して応募ください。

また、東京都読書感想画コンクールについても応募の際に注意していただきたい点がございます。

①作品の応募先は、読書感想画中央コンクールのサイトに載っている問い合わせ先の学校ではありません。

東京都で読書感想画の応募要項を作成し、本会のホームページに例年9月ごろには掲載しております。ホームページをご確認ください。



②「応募一覧表」を作品とともに送ってください。(こちらホームページにあります)

読書感想文とは異なり、印刷したもののみで構いませんので、作品と共にご送付ください。

③読書感想画はすでにある構図を真似たものなどは審査の対象外となります。表現力のある生徒の作品を対象外とするのは心苦しくもありますので、生徒に必ずご指導いただけますよう、お願いいたします。

円滑な事務作業を行うために、本会ホームページを活用し、応募要項をよくご確認ください。

最後に、東京都中学校図書館研究会では、本会の活動にご協力いただける役員を募集しています。読書感想文指導等の情報交換や各校の学校図書館運営など、勉強になることがたくさんあります。興味のある方は、ぜひ事務局担当の齊藤までご連絡いただくと幸いです。